PURE/THAI 発
発刊 93 号 2018年 10月 10日 発行　　発行者　寛庵 泰
EXCITING/Thailand News
Relaxation/Place（ くつろぎのいおり ）
422/33 Soi 7 Chiangmailand T.Changklan A.Muang Chiang Mai ThaiLand〒50100 Mob：081-205-0689 e-mail：h2.kanang@gmail.com

Look Mahathir （マハティール首相に見習え）

私とマレーシアとの接点は、本誌90号で少し触れたシンガポール国際会議（20数年前）に参加した際、バスで橋を渡ればマレーシア（ジョホールバール）で、そこに支社・営業所があるから表敬訪問しようという事で、行ったのが最初。次に行ったのは、2011年7月、ビザ更新のための訪問だったが、街中に中国色がやたら色濃かった事が異様だった。

通りを挟んで、バス停ベンチの後のボードは、中国の温家宝国務院総理とナジブ首相の写真がデカデカと貼られ親中マレーシアとの印象を受けた。

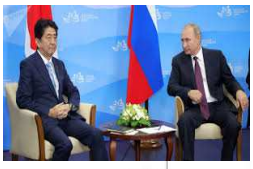
マレーシアは、親日国のはずだったのがいつから親中国に変ってしまったのか？体たらくな日本の現状を危惧して、引退後ホームベーカリーをされていたマハティール元首相からは、「今の日本から学ぶ事はない」と、単刀直入の苦言を呈されていた頃だったから、大の親日家からも見放されてしまったかと看板ボードを恨めしく眺めた事を記憶している。それでも、同年3月の東日本大震災に対して「日本は、この国難を必ず乗りきり復活すると確信している」というお見舞いと、励ましのメッセージを寄せられた事に、一縷の望みを繋いでいた。

あれから7年、その後マレーシアには行っていない。日本は日本で、片手落ちの経済政策にしがみつき、政権だけがアベノミクスを自画自賛しているだけで、相変わらずデフレ経済から脱却できない政策しか打ち出していない。周回遅れの移民政策を採択したり、デフレ下でやってはいけない禁じ手の消費増税を企んでいる。（最大の敵は、デフレ経済状況だということに真面目に取り組まない者たちだ）解決策は明々白日・可能なのに敢えてやらない。暗中模索・五里霧中で解決策を探しているのならまだしも、財政出動以外にデフレ脱却の解決策はない。

消費税の撤廃を宣言し、当選を果たしたら、中国の一帯一路計画を拒絶し、中国人の侵入・侵略・侵食を阻止する動きを速攻でとっている、マハティール首相を見習って欲しいものだ。
https://www.youtube.com/watch?time_continue=5&v=blxz82qJA(マハティール首相
https://www.youtube.com/watch?time_continue=3&v=XzBlOd6gc フォレストシティー

20数年前に訪れたジョホールバールは、赤茶けた地肌が見える東南アジアでよく見かける、差ほど豊そうでもない街だった。シンガポールとの国境の町という事でトラックの数がやたら多く、わざわざ土煙を浴びに行ったという印象が強い。
それでも、同じ会社の社員として、Welcome to Johor Bahru branch の横断幕を掲げ、営業マン・スタッフ全員が歓迎してくれた事を懐かしく思い出す。

今の、タイで云えば、チェンライのメーサイやノーンカーイをイメージすれば、近い。それが、中国資本によって大都市開発が進んでいて掲載動画が実現しかかっている。2～3割近くまで出来上がっている所に工事中止や、規制をかける勇断は、並大抵の事ではない。（10月の安倍・習会談の結果と比較したい）
今、北海道や沖縄、離島の土地が中国資本によって買い漁られているという。



9月12日の東方経済フォーラムで、プーチン大統領が冗談半分に、「まずは平和条約を結ぼう。年末までに。ほかの条件はつけずに結ぶということだ」四島一括返還しなければ、平和条約を結ばないという日本の方針を無視し、日本と安倍首相をおちょくっているとしか取れない発言だ。

条約を一方的に破棄して今があるロシアの手玉に乗っては日本の未来はない。会合遅刻常習者でもあるプーチンの個人資産は、20兆円とも30兆円とも言われている。今、経済危機に陥り、年金受給年齢を男女共に5歳引き上げなければロシアは経済破綻すると訴えても、国民から反発され、四面楚歌に陥っているプーチン。冗談で返すなら、「無条件降伏は聞いた事があるが、無条件平和条約は、聞いた事がないですね。」と言うべきだった。
どうせ一方的に破棄する平和条約など締結して書面上の友好国になったとしても、友好国の悲願が叶わなければ、ロシアは衰退の一途を辿るしかない。決して繁栄しない。
貯め込み過ぎた個人資産も、亡き後にはハイエナ軍団に貪りつくされるのがオチだろう。残念ながら、向こうの世界まで持っていけない。レーニン像引き降ろしの映像が思い出される。

今！歴史の転換点

本誌では、何度も追分の話をして来た。歴史という道のりの中にあって、追分に差し掛かる事は、幾度となくある。平成最後の年となる今年、振り返ればこの30年間、個人的にも、国内外にしても、追分に次ぐ追分の時代だった感じだ。言うなれば『ジグザグ(紆余曲折)の時代』だった。最終年度に天の声が聞こえ、糺さなければ滅びる。

地震は、お偉い地震予知学会のセンセイ方に聞くより、ナマズに聞いた方が確かだという事が今回の北海道厚真町を震源とした震度7の地震で証明された。(誰一人予知していなかった)いつ・何処で・何が起きても不思議ではないのが、この世の中で、これを以って不確実性と云ったり、想定外の出来事と位置づけるのは必ずしも的確ではない。(言い換えれば、それ故に、天国と地獄はこの世のものであり、来世の世界のものではないとも云える)

天災がもたらした人災の輪が広がっている。全道一斉停電と云う異常事態に見舞われながら、マスメディア始め、政府・地方行政・北電からも原発再稼働の話が出て来ない。一般国民の、原発再稼働賛成派の一部が声を上げているに過ぎない。(私もその内の一人)

毎日乗っている車やバイクが100%安全な乗り物でないように、100%安全な原発などある筈もなく、事故や危険性を前提とした安全対策を施しつつ再稼働するしかない。これから迎える厳冬にブラックアウトしたら、数千人単位で凍死者が出る。(確信犯は、再稼働反対派の全員)

『一体何なんだ！…』というニュースがまかり通っている。最近は富に、事実報道とは云い難い『切り貼り報道』『偏向報道やフェイクニュースの類』が溢れ出ていて、人心を掻き乱している印象が強い。(左傾の断末魔の叫びなのかも知れない)

日本に居る時から、ニュースショーやバラエティー番組などは(嘘っぽく、騒がしいだけで)好きでなかったから、見ずに過して来た。タイに居ても、日経・朝日・読売などの新聞も売られているし、今ではタイムリーに日本のTV番組が見られるようになっているが、共に買わないし、見ない。ニュースはネットニュースで充分間に合っている。近隣国をはじめ、各国とも内政・外交問題に難局を抱えている。まかり間違えれば、破局さえ招じかねない。

自民党総裁選は、自民党員以外の者には全く関与できない『内輪の選挙』だったにも拘らず、野党やメディアは一生懸命石破茂を応援し、敗れても善戦した論調を引きずっていた。こんな処で石破茂が首相になったら、日本は終わってしまう。野田聖子にしても然り。将来的にも、この二人には首相の目はなくなった総裁選だったという事で、安倍晋三で良かった(Good)で、ベターでも、ベストでもない選挙結果だったと見ている。

アベノミクス効果を自画自賛していたが、日本経済の元凶になっているデフレから脱却しないし、しようとする気配すら感じない。『付け焼刃』『場当たり』『対処療法』政策しかやっていない。「最優先課題…」と称している重要項目が多すぎ、それに天災が追い打ちをかけ、野党だけではなく、自民党内にも反安倍勢力が居て、八面六臂の状況下にある。いくら八方美人外交をやり、ODAバラマキトラップ外交をやっても、芯(国家の体系)がなければ国民は付いて来ない。

残り3年の首相任期を前に、すべき最初の行動は何か？靖国神社参拝以外にない。

米中経済戦争の最中、疲弊し切って日本にすり寄って来ている時にこそ、中国がもっとも嫌がることが出来てこそ芯を示す時(グッドタイミング)であり、反日分子を白日の下に晒す絶好の機会だが、やらないし、出来ないだろう。(芯がないから)

私は靖国神社には2～3度しか行った事がない。私や読者諸兄が参拝した処で、話題にもならなければ、右翼だと決めつけられることもない。安心して先人の魂と向き合い、尊崇の念を祈り、感謝の意を表すことも出来る。
同じことを日本国総理大臣がやると、反日国から非難囂々の憂き目にあう。これは当然のことであって、敵国がその正体を露わにしていると云う事を国民が理解すれば良い事で、首相自ら言わなくとも、取り巻きがこぞって「反日は敵」と云えば首相をガードし、国民に知らしめることになる。(超党派参拝議連にお願いしたい)

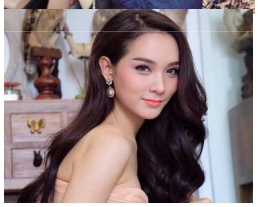
山積する『最優先課題』の中で、先日のトランプタワーでのディナーミーティングで、『拉致問題解決』の協力を話し合ったようで、成果を期待したい。そのあとの課題として、以下の動画をご覧頂きたい。最後に松下翁の遺訓にも耳を傾けたい。

https://www.youtube.com/watch?v=I7MJYVkGlil
https://www.youtube.com/watch?v=m_IQlSMhgLo
https://www.youtube.com/watch?v=QbBUUCSdlgg

Front Japan 桜 9／6 コメント欄に投稿
国際リニアコライダー
松下幸之助

線引きの思想

先ずは、自分と云う個がある。取り巻く家族という単位がある。血族・親族という系統がある。同族・種族という分類がある。市町村という境界線の延長線上に、県・地方・国という境界がある。すべからく線引きによって自主権が成り立ち、守られている。男女の間にも平等・同権と云う線引きがされていても、一線を越えれば怪しくなってしまう。



そもそも、男女の間に平等や同権と云う線引きを持ち出すこと事態に無理があると言いたい。
現実を見れば、男女平等でも同権でもない。男社会の男尊女卑／男子禁制の女性専用がまかり通っていて、何をいつまで寝言を繰り返しているんだ！という話だ。平等ではなく対等。

近頃、日本ではジェンダーフリーと云う言葉が一般化しだした。レズ・オカマ天国の国にいると、ブスな女より、オカマの美人の方がよっぽど綺麗だ。彼等は、命がけで綺麗さに賭けている。
綺麗・可愛い・セクシーが、女の最大の魅力と考え行動しているのが、オカマちゃん達の思考形態だろうと思われる。（身近に、息を呑むほど綺麗なオカマちゃんがいるからそう思う）
果たしてそうだろうか？などと考えもしない。（きれ**い**・かわい**い**・せくし**い**　の3**い**に命を懸ける）

女の最大の魅力は、もっと別な所にあるだろう。逆に云えば、男の最大の魅力も容姿や体力財力も然ることながら、これらを離れたところにありはしまいか？

一つ取り上げたいのが『新鮮さ』。幾つ歳をとっても新鮮さは保てる。気が付けば、旬の時期はとっくに過ぎ去ったものの、新鮮さまで自ら捨て去る事はないだろう。
自ら捨て去ると、どうなるかというと加齢臭が漂い、ウザ**イ**・ダサ**イ**・クサ**イ**・（3**イ**）老人が出来上がる。（身に覚えのある人は、加齢臭一発解消石鹸から使おう！）

いつも、国語の授業をしているようで恐縮ですが、『新鮮』と『新鮮さ』とでは、どう違うでしょうか？新鮮さは、新鮮でないもの（又は、新鮮でなくなったもの）を新鮮なもののように…という意味ですから、うわべだけ装っても、化けの皮が直ぐに剥げ落ちて当然です。だったら、どうしたら良いのか？…一線を画す肯定法です！
「加齢臭が漂い、ウザイ・ダサイ・クサイ老人でございます」と、自ら肯定する事から始め、日本を取り戻す前に、加齢臭を取り除く作業に一日でも早く取り組む事です。

二番目・三番目に取り上げる『あなたの最大の魅力を引き出す方法』について、考えてみましょう。二番目は『美しさ』、三番目は『優しさ』です。いずれも、〇〇さ、で美しくない・優しくないが前提ですから、自ら美しい・優しい人だと自覚している人は除外（対象外）切捨て御免です。
概ね、自他共に美しい・優しいと思い込んでいる人は、実に醜く、冷淡な人であることが多いようですから、「そうですか、勝手にしやがれ！（自惚れていろ！）」で、除外して問題なし。

『外見ブスだが、性格美人』とか、『外見美人/性格ブス』という人がいるように、ギャップの激しい人も少なくありません。美的感覚を何処に置くかで、見え方に個人差が生じるのは仕方ないでしょうが、清楚であることが美しさを際立たせるのは間違いないでしょうから、美しさを表現し、保ちたいと希（こいねが）うならば、清楚を心がけ、追求・実践する事です。
今更、清楚を心がけ、追求してもとっくに手遅れなのは承知の上で、それでも尚、はたと気が付き、心がけ、追及・実践に踏み切る（線引きをする）人の美しさに人々は魅了されるでしょう。

日本人のセールスポイントである『優しさ』が、とみに軟弱化・脆弱化しつつあるのは、他人への優しさよりも、自分への優しさ（自己憐憫）の度合いが高まってしまった結果ではないかと推測されるばかりではなく、危惧される。
某近隣国のリーダー達の自己憐憫の激しさは、常軌を逸している。それ故に、自国民の生命財産を簡単に召し上げ、自己憐憫を更に助長させているのは周知の事実。琵琶法師の弾き語りと言い伝えられている平家物語が、現実の世界でも起こりうる状態が今で、後は、時間の問題だと思って見ている。
（…驕れる人も久しからず、ただ春の夢の如し、たけき者もついには滅びぬ、ひとえに風の前の塵に同じ…（具体的な実名を挙げた後に）…亡じにし者どもなり。）

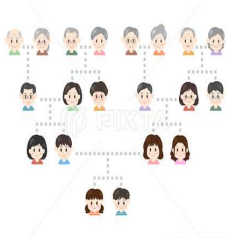
それでは、何故、日本人の優しさが軟弱化し、脆弱化してしまったのか？
優しさを裏付ける強さを鍛えることを怠って来たからに他ならない。体力的・知的・精神的強さを蔑ろにし、経済的強さに走ってきた結果でもある。

敗戦の結果、無一文の貧乏国に陥落し、…耐えがたきを耐え、忍びがたきを忍び…ながら、何はともあれ、経済復興からはじめ、持ち前の忍耐力と勤勉さで、技術力と経済力は高度成長した。が、一度の敗戦・二度三度のバブル崩壊で、へたれ国家となった再建は、体力的（元気・健康）・知的（情報・分析）・精神的（ポジティブ）強さを鍛えるしかない。

https://www.youtube.com/watch?v=4g9ZlGhN7oU　踊るポンポコリン　（故・さくらももこ　さんを忍んで）
https://www.youtube.com/watch?v=OcY39_UU4RU　チビ丸子ちゃん　（故・さくらももこ　さんを忍んで）

残された時間 に

生まれて来てから現在まで（χ）と、残された時間（ｙ）とを比較すれば、残された時間の方が少ない（χ＞ｙ）と感じたのは、何時頃でしょうか？40代・50代・60代…今頃になって、人さまざまでしょう。残された時間に何をすべきか、何をしたいのか、何ができるのかを考えてみましょう。その前に、「あなたは何人ですか？」「何で日本人なのですか？」



人種・民族差別の話ではありません。日本人として生まれ、日本人として育ち、日本の社会で活躍されて来た（今でも活躍されている）皆様方。「何で日本人なのですか？」って問われても、多くの人は、両親が日本人だから、自分も日本人という認識で過されて来られたでしょう。

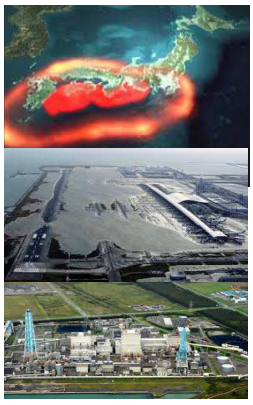
誰でもが、生まれて来たら、たまたま日本人だったと云う事です。日本人として生まれたくて、日本人に成ったのではないと云う事です。 このたまたまの偶然と、たまたまの時代背景や、生活環境の中に生まれ育って来て、日本人である事に気が付いた（認識できた）か、気が付かないまま、唯漠然と、何となく日本人をやって来たかどうか振り返ってみましょう。

日本人である事の認識が、意識に変化すると、日本人としての自分自身の存在と、なすべき事が見えて来ます。認識を意識に変化させる端的な行動は、自分が外国人になってみる事です。日本国内に居て、「自分は日本人だ！」なんて叫んだら、『あいつは、右翼』というレッテルが、ベタベタ貼られるでしょう。この意識の欠如が、今の日本の現状でもあります。

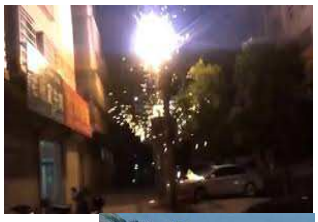
全てとは云わないまでも、大半は、たまたまの偶然の成せる業だと心得ておけば、予期せぬ出来事（想定外の出来事）も在り得る事だし、よくよく調べ（観察・観測・過去の事例を調べ）てみれば、過去に何度も起こっていた事まで分かって来る。新発見・新発明の原点も、見えていて観ていなかったものであることが多い。

必然性は、かなりな部分避けて通る事ができる。（100℃を超える温泉でも、一瞬触れるだけなら、熱さを感じるだけで火傷までしないが、それ以上だったら、確実に火傷するし、誤って浴びてしまったら大火傷してしまうから、避けて通るだろう）が、敢えて火傷や大火傷をしなければ懲りない人間が多くなり、繰り返す者も後を立たない。一体、誰の事を云っているんだろう？自分の事？いや、あいつの事！いやいや、か奴の事に違いない！！。そうだ！か奴に責任転嫁してしまえ！…。

誰彼のせいにしても始まらない。必然性が予測されるされるものに関しては、そなえよつねにが正解だろう。予期せぬ出来事に遭遇してしまったら、想定外に逃げるのではなく、予期できなかった事を反省しつつ、今後に備える必要があるだろう。
信じる、信じないは別にして、今後30年以内どころか、7ヶ月以内に南海トラフ地震が起こる可能性が高いという記事が掲載されていたので、引用する。判断と備えはお任せします。
https://www.youtube.com/watch?v=I-UabW_1WR0　南海トラフ地震



9月4日に台風21号が近畿圏を襲い、関西空港が水没し、関西電力・中部電力・北陸電力のエリア（計231万戸）が停電するというニュースがあったかと思えば、時を待たず（9月6日未明）北海道央の厚真町を震源とした震度7の地震が発生し、家屋倒壊などの被害はもとより、人的被害に加え、停電が全道に渡り発生（ブラックアウト）し、火力発電所からの火災や損壊も報告されている。当初報道では、復旧までに電気のない生活が1週間以上掛ると発表された。



チェンマイも、雨季の期間（4月半ば～10月半ばまでの間）何度か停電に見舞われる。近所にあるトランスが爆発音（ショートの火花）と共に停電する。
原稿執筆中にこれがあると、瞬時に書いたものが飛んでしまうから、小まめに保存（バックアップ）しながら進めている。雨も、日本では記録的短時間大雨が降った！（想定外だった！）と云っているが、一時間/100ミリなんて、こちらでは珍しくないから、「何云ってんだ！スコールとはそういうもので、想定しておけョ！」だ。

チェンマイの停電は、しょっちゅう（月1～3回）だが、しょっちゅうだから、復旧も早い概ね1～2時間で復旧する。関西電力の復旧には、九州電力や四国電力・中部電力の工事・送電応援を受けて早めに復旧できたようだが、それでも数日停電！3日間も電気がなかった北海道！やはり、原発再稼動は必要じゃないか？

教訓から学ばなくなってしまった日本人は、退化の一途を辿るしかないし、現に辿っている。一度の敗戦、福島原発事故で縮み上がり、戦意喪失・逃避思考に走っている。車でも原発でも必ず事故は起こるものという前提で、反省と教訓から、より安全性を追求して行くから良いものが出来、国は進歩発展する。狂人が命じた原発停止命令を、ダラダラと、いつまでやっているんだ！世界標準の安全基準に照らして再稼動を急がなければならない時でもある。

https://www.youtube.com/watch?v=9V_KnBpXGCE　国土強靭化会議　**必見動画**
https://www.youtube.com/watch?v=es_fDWyXNNU　沖縄シンポジューム　**必見動画**